※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選古典探究 古文編（東京書籍） 精選古典探究 漢文編（東京書籍）						
副教材等	「学ぶぞ古典文法」尚文出版 「学ぶぞ古典文法基本練習ノート」尚文出版 「新訂版 最新国語便覧」浜島書店 「シンプルスタイルシリーズ古文単語 301」尚文出版 「３ステップオリジナル問題集　基礎古文 1＋」尚文出版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年次に身に着けてきた「読む」「書く」「聞く」「話す」力を継続して伸ばしましょう。
・1 年次に習得した基本的な文法・語彙力を活用して多くの古典作品に触れ、その内容や登場人物の心情、古典常識や歴史的背景を学び、現代のそれらと比較・考察しましょう。また、より理解を深めるために新たな文法を定着させましょう。
・授業を真剣に「聞く」こと、課題や演習に「取り組む」ことで様々な力が伸びます。授業を共に作り上げている人への敬意を忘れず、毎回の授業を大切にしましょう。
・提出物については必ず期限を守って提出するようにしましょう。
・小テストの実施については、予告をします。定期テストと同様に、計画を立てて臨みましょう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、文章に描かれた人物の心情や情景などを表現に即して読み味わうことができるようにする。古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方を的確に読み取り、それに対する自分の考えや気づきを効果的に表現できるようにする。
・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典作品を的確に読むために必要な文法、語彙力を習得し、定着させている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典を通して我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	古典を読むことを通して自分の考えを広げ、行動や生き方の参考として生かそうとしている。 読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話 ［教材］ 『宇治拾遺物語』より 「小野篁、広才のこと」	a:古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価することができる。 c:進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等)
	物語 ［教材］ 『大和物語』より「姥捨」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 c:進んで歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し，学	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等)

※令和４年度以降入学生用

		習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。			
2学期	作り物語 ［教材］ 『源氏物語』より 「光源氏の誕生」【桐壺】	a:古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察することができる。 c：進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し，学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）
	随筆 ［教材］ 『大鏡』より 「道真の左遷」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 c:進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し，学習課題に沿って内容について意見を述べ合い，自分の考えを深めようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

※令和４年度以降入学生用

3学期	『史記』より 「鴻門の会」	a:先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において，古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:進んで『史記』を読んで項羽の生き方について理解し，学習課題に沿って，人間のあり方について関心を深めたり，調べて発表したりしようとしている。	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認・分析 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、プリント等）

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間